

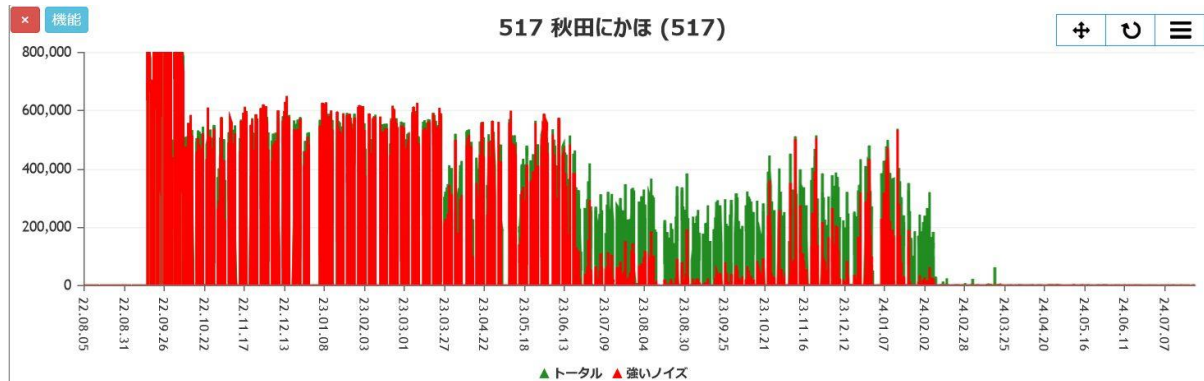
240726 岩手一関、秋田にかほの減衰状況

一昨日（7月24日）に配信した、逆ラジオ通信 No.29 W-250724 のトピックスに
<【岩手一関】の急な減衰 東北地方の大地震の可能性>として次のように載せました。

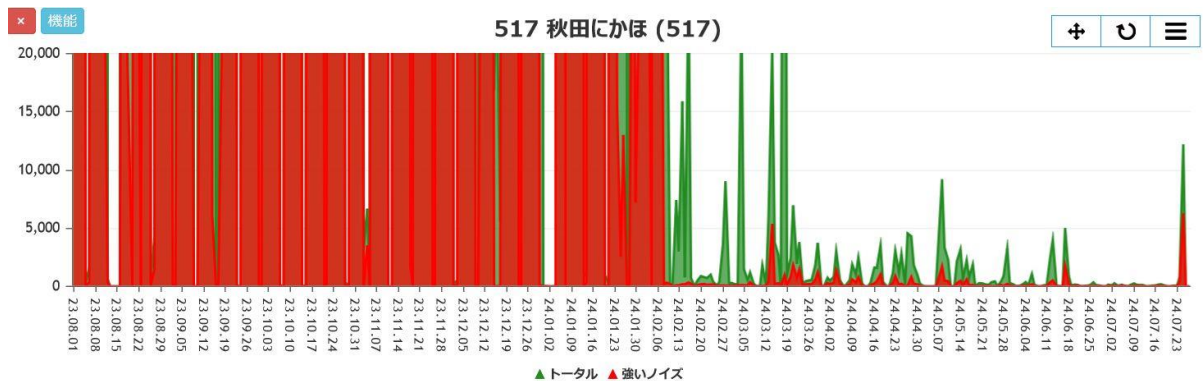
- > 約2年間続いた【岩手一関】の長期、大型データが急に減衰しています。同じく【秋田にかほ】の長期、大型データの減衰については、今まで何度か発震予想を載せていて、まだ発震がなくいったん取り消しましたが、こちらもまだデータが反転上昇せず、ゆっくりと減衰しています。そのタイミングで【岩手一関】の長期、大型データが急に減衰してきたことは、要警戒です。南北に長い東北地方で、【岩手一関】と【秋田にかほ】の位置関係はちょうど同じような緯度になっていて 次の予想とします。
- > 地震の規模 M6クラス以上
- > 予想震源 岩手一関と秋田にかほの中間部かその周辺
- > 発震予想 7月24日より5日間程度

【秋田にかほ】の長期データは2月になって急に大きく減衰しましたが、その後データが反転上昇せず、さらにゆっくりと減衰しています。また【岩手一関】の長期大型データは7/17ごろに急に減衰してきており日毎データでは、きれいな減衰状況がよくわかります。この2か所の観測点が地理的にとても近いことから周囲での大型地震の可能性高いと思われます。以下に、本日までの関連のデータを載せます。

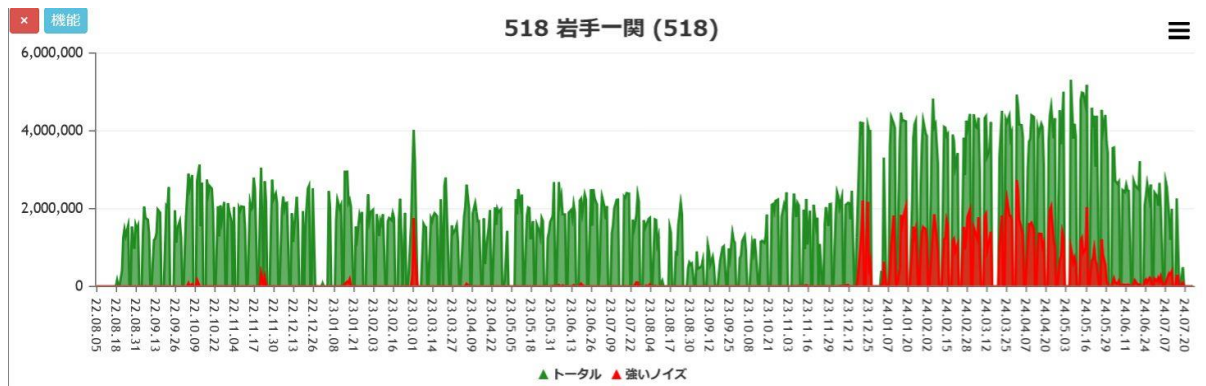
720日（2年）間（日毎）データ



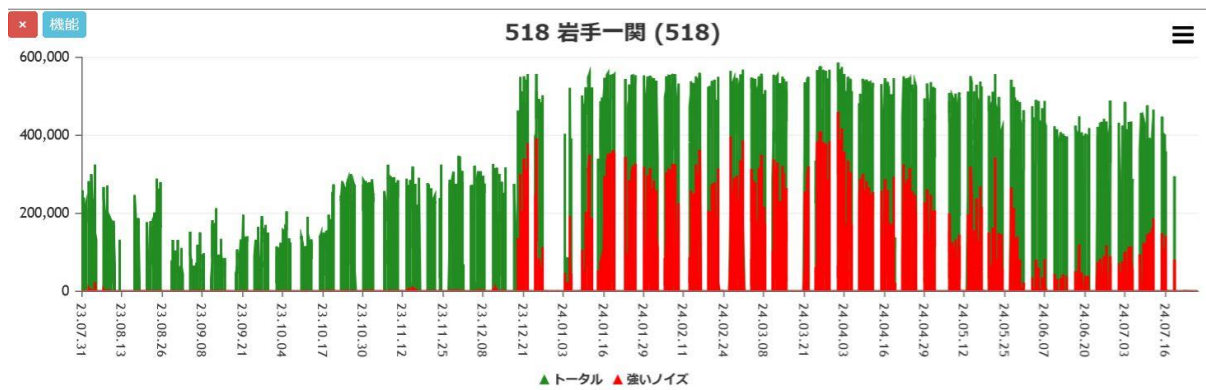
360日（1年）間（日毎）データ



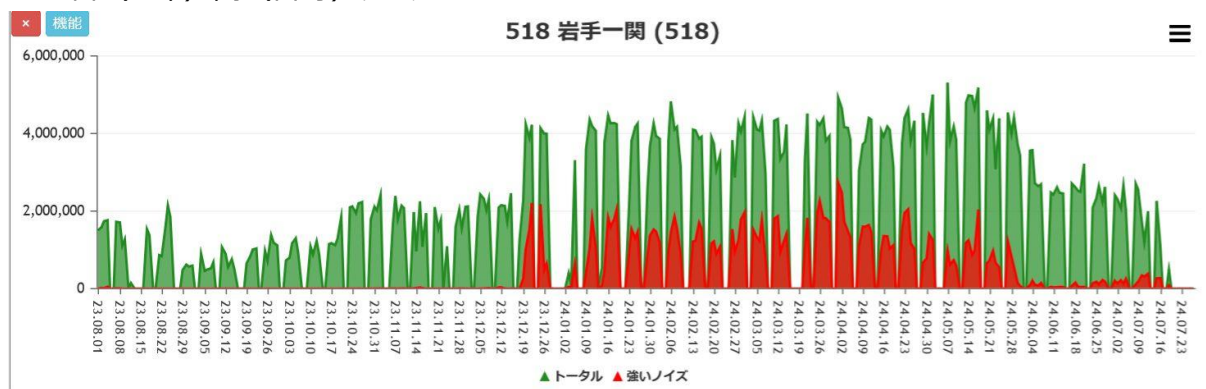
720日（2年）間（毎日）データ



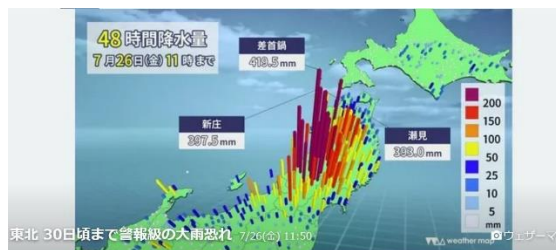
360日（1年）間（時間毎）データ



360日（1年）間（毎日）データ



なお、昨日7月25日より、秋田、山形などは、大雨になっていて、河川の決壊などがあいついでいます。このような大雨のあとに大地震が発生した事例は、新潟豪雨の後の中越地震（2004年）の例などがあり予断を許さない状況にあります。この地域の方がたは十分ご注意ください。



東北は長丁場の大雨で危険な状況続く 弱い雨でも嚴重警戒 週明けにかけて警報級の大雨のおそれ [ウェザーマップ](#)

最上川氾濫で複数の孤立地区 自衛隊が救助活動



山形で線状降水帯発生 予測間に合わず 河川氾濫、田畑に濁流

1名の専門家が推薦中

7/26(金) 9:30 配信 198

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞



水に漬かった家屋と水田 (25日、山形県真室川町で=大沼さん提供)

山形県を中心に東北の日本海側で25日、線状降水帯が発生するなど大雨となり、河川の氾濫や土砂災害、田畑の冠水が相次いだ。同県酒田市では1時間雨量が観測史上最多の86ミリを記録。気象庁は今回、線状降水帯の発生を予測できなかった。秋田県では工事現場で土砂崩れがあり、男性1人が巻き込まれた他、スイカ畑が冠水するなど深刻な農業被害も出ている。

【写真で見る】大雨で冠水した田畑 (秋田県で)

山形、秋田で局所的な豪雨となり、酒田市など4市町は緊急安全確保を発令。午後5時現在、酒田市で1時間86ミリを観測した。

位置関係

